

♣グリーン電力出資金出資者  
♣グリーンコープでんき利用者 の皆様

# グリーンコープでんき通信 VOL.25



2019年7月29日発行  
一般社団法人グリーン・市民電力

## 全国ご当地エネルギー協会2019年度総会報告

〔 6/29 茶畑ソーラーシェアリング(菊川市)  
6/30 定期総会・基調講演会 (静岡市) 〕

グリーン・市民電力も会員である「全国ご当地エネルギー協会(以下、「ご当地」)の定期総会が、6月30日に開催されました。「ご当地」は、2014年5月に設立され、「3.11」後に地域主導型の自然エネルギー事業に取り組む組織を支援しているネットワーク型の団体です。また、今年4月発足した「水俣・熊本みらい基金」を「ご当地」と一緒に運営しています。

総会は、冒頭事業モデルからの報告・共有、参加団体からひと言アピールのあと、総会議事(2018年度の事業・決算報告と2019年度の事業計画と代さんの審議を行いました。総会終了後、金子勝さんを講師に公開講演会が開催されました。

なお、総会の前日は、茶畑にソーラーパネルを設置し、農業や化学肥料を使わないで持続可能な栽培をしているハトリ農園のソーラーシェアリング(営農型太陽光発電所)を視察しました。

視察と講演会について、ご報告します。



「自然エネルギー成長論と地域経済」  
～オルタナティブな日本な姿～

日本の経済は世界から遅れている。エネルギーは、たとえば、基本計画の中での電源構成は、再エネが22～25%、原発20～22%となっている。が、再エネの割合については大手電力会社が消化する、市民の取り組みを締め出す方向に進むのではないかと懸念されている。一方、「ご当地」などがやっているのは、地域の生業と結合してエネルギーを生み出すという経済活動だ。そういう経営が成り立って人が生活をしていけるモデルを作り、そこが未来に向かうための拠点となって反転する力を蓄える。世界や日本がどんどん悪くなっていく中で、エネルギーを基軸に新しい経済活動を興して未来をめざそう。



IoTを活用した被覆栽培の茶畑(上)  
一般的な営農型ソーラー茶畑(左)

ハトリ農園は、お茶の栽培から販売まで一貫して行っている。静岡県は全国の煎茶生産量第1位だが、生産農家は減少気味。そんな中、10年目に抹茶ブーム到来を予想し抹茶事業を起こした。抹茶用の茶葉は被覆栽培しなければならず、服部社長は茶木を覆うための棚をどう作るか模索してきた。そこで光の飽和点に着目し、棚にソーラーを載せた。太陽光の強さが茶葉の光飽和点(光合成に必要な光)と合ったから。2014年に第一号を作った。一番新しいのは業界初のIoTを活用したモデル。今後は遠隔で被覆作業をできるようにしていくという。現在、ハトリ農園のお茶は、28カ国で愛飲されている。イギリスのウィリアム王子もその一人だという。

# 第七期 般社団法人グリーン・市民電力定時社員総会 報告

〈日時:2019年6月17日(月)10時45分/場所:大博通ビルディング〉

## 一、2018年度活動報告

### (1) グリーンコープでんきの利用をを広げ、新電力事業の損益改善をすすめてきました。

1. 3月次の利用件数は、4,281件となり、前年比110%の伸びを達成することができました。今後も、着実の原発フリーのグリーンコープでんきの利用を広げて行きたいと思えます。
2. 単協で取り組まれた発電所視察への対応、費用補助を行いました。視察を実施された単協は、グリーンコープ生協おおさか、グリーンコープ生協ふくおか、グリーンコープ生協くまもと、グリーンコープ生協おいたの4単協で、合計9回の視察、167人の方が参加されました。
3. 2月9日、グリーンコープでんき決起集会を開催しました。専従事務局・ワーカーズを対象にした「グリーンコープでんき利用推進のための決起集会」で、今回、2回目の開催となります。総勢226人が参加しました。

### (2) 原発フリーのグリーンコープでんきを安定的に供給できるように取り組んでいきました。

1. これまで、電源を特定して原発フリーの電気の供給ができるように検討をすすめてきました。今年度、丸紅新電力とあらたな取り扱いを確認して、10月から特定した電源のみによる原発フリーのでんきを実現することができました。
2. 自社の発電所やグリーン・市民電力が参加している発電所の電力についても、可能などころからグリーンコープでんきの電源に組み入れていくことにし、昨年11月から馬洗瀬小水力発電所、今年2月から杖立温泉熱バイナリー発電所を電源に組み入れることができました。
3. 発電所の建設では、2017年1月に検討をスタートした霧島太陽光発電所が、ようやく建設に向けて動き出しました。これまで地元への説明と継続的な対応を行ってきた結果、地元の合意が得られ、4月13日に安全祈願祭を行なうことができました。2020年3月竣工予定で工事がすすんでいます。
4. 先に工事がすすんでいるながわ小水力

発電所も、2020年6月竣工予定で、現在、工事が順調にすすんでいます。

5. 発電所建設の資金へ出資いただいているグリーン電力出資金は、3月25日現在、申込人数11,795人、申込額1,111,631,000円となりました。
6. グリーン電力出資金は、電気の利用申込とあわせて年5回統一チラシを配布していますが、グリーン電力出資金の10年間据え置きなどがハードルになっていると言われていています。あらためて統一チラシやグリーン電力出資金の取り扱いについて、整理をすすめたいと思えます。

### (3) 原発を取り巻く状況や託送料の問題などについて、グリーンコープでんき利用者と共有しながら、脱原発の取り組みを推進してきました。

1. 託送料金の問題について、託送料金検討委員会での検討を進めてきました。
2. 今後、訴訟も視野に入れ、託送料金、廃炉円滑化負担金、賠償負担金などの詳細を確認していくため、経済産業省、文部科学省、関西電力、中国電力、九州電力への問い合わせなどをすすめてきました。

### (4) あらたに熊本復興ソーラー事業を立ち上げ、熊本と水俣を対象にした基金の立ち上げをすすめてきました。

1. 環境エネルギー政策研究所の提案を受けて、熊本復興ソーラー(グリーン未来ソーラー)事業立ち上げを検討し、グリーンコープ生協くまもとの10施設の屋根への設置をすすめてきました。
2. この事業で得られた収益については、全国ご当地エネルギー協会が水俣市に建設した水俣薄原太陽光発電所の事業収益とあわせて、熊本地震の復興と、水俣の地域再生へと繋げられる「水俣・熊本みらい基金(つんなう基金)」を設立し、活かしていくことにしました。
3. 基金設立シンポジウムを2019年3月4日に熊本市で開催し、基金助成のための説明会を4月4日に水俣市で、19日に益城町で開催しています。
4. 2018年度の収益から拠出を開始し、この基金を通じて、人と人が共生しあう地域の創出をめざしていきます。

## 二、2018年度決算報告

### (1) 事業概況

1. 収入では、新電力事業による電力小売収入、発電事業による売電収入、遊学舎の事業収入と太陽光発電の売電収入、会費収入を計上しています。
2. 電力小売収入は、契約件数が伸びず、予算に対して81.2%となりました。
3. 売電収入は、順調の伸び、予算に対して105.5%となりました。
4. 遊学舎の事業収入は、予算に対して126.0%となりました。
5. 経費では、定時職員給与、車両燃料費、販売材料費などが予算を上回り、反対に、福利厚生費、法定福利費、消耗品費、車両修繕費、修繕費、保険料、託送料、研修採用費、調査研修費、会議費、企画材料費、通信費、旅費交通費などが予算を下回っています。
6. 今年度決算では、売上高を3つ（小売売電、発電売電、再エネ賦課金）に分類して、各部門の売上げと仕入れを適正に表示できるようにしました。
7. 以上により、2018年度の経常利益は、37,497,290円、税引後純利益は、21,479,343円となりました。

科目	本部・発電	新電力	遊学舎	グリーン未来	合計
1.売上高	184,179,382	655,379,032	2,097,877	6,451,998	848,108,289
売上高(小売電力)	0	575,701,363	0	0	575,701,363
売上高(発電売電)	183,359,382	0	82,448	6,451,998	189,893,828
売上高(再エネ)	0	79,677,669	0	0	79,677,669
会費収入	820,000	0	0	0	820,000
利用収入	0	0	55,453	0	55,453
企画収入	0	0	215,658	0	215,658
販売収入	0	0	1,744,318	0	1,744,318
2.仕入高	0	343,632,579	0	0	343,632,579
3.経費合計	121,442,834	342,562,151	8,764,276	4,194,779	476,964,040
4.営業利益	62,736,548	-30,815,698	-6,666,399	2,257,219	27,511,670
5.事業外収益	21,327,623	0	0	0	21,327,623
6.事業外費用	10,985,773	0	0	456,230	11,342,003
7.経常利益	73,178,398	-30,815,698	-6,666,399	1,800,989	37,497,290
8.特別損失	10,508,847	0	0	0	10,508,847
9.経常利益	62,669,551	-30,815,698	-6,666,399	1,800,989	26,988,443
10.法人税等	-	-	-	-	5,509,100
11.当期純利益	-	-	-	-	21,479,343

## 三、2019年事業計画・予算

### (1) 事業計画

1. グリーンコープでんきの利用を広げ、引き続き新電力事業の損益改善をすすめていきます。
2. グリーンコープらしいでんきの料金プラン、でんきの使い方について検討をすすめ

ていきます。

3. 発電事業について、継続的に開発をすすめていきます。
4. 原発を取り巻く状況や託送料金の問題などの取り組みを推進していきます。

### (2) 収支予算

1. 売上高は、電力小売事業、発電事業、グリーン未来ソーラー、遊学舎の事業収入を計上しています。
2. 電力小売事業は、前年度の伸びを維持し、前年比110%を目指します。
3. 発電事業は、太陽光発電所の売電収入を計上しています。2018年度より出力制御が実施されているため、該当太陽光発電所の収入合計を約1,000万円減算しています。
4. グリーン未来ソーラー事業は、売電収入を計上しています。出力制御については、これまでの実績を基に約39万減算しています。
5. その他、社員からの会費収入、社債による受取利息などを計上しています。
6. 以上による2019年度の税引前当期剰余金は、14,543,562円、税引後純利益は、8,699,341円となります。

科目	本部・発電	新電力	遊学舎	グリーン未来	合計
1.売上高	169,074,164	759,876,370	1,832,512	8,668,424	939,451,470
売上高(小売売電)	0	665,856,893	0	0	665,856,893
売上高(発電売電)	168,254,164	0	71,312	8,668,424	176,993,900
売上高(再エネ)	0	94,019,477	0	0	94,019,477
利用収入	0	0	54,800	0	54,800
企画収入	0	0	217,000	0	217,000
販売収入	0	0	1,489,400	0	1,489,400
会費収入	820,000	0	0	0	820,000
2.仕入高	0	394,897,608	0	0	394,897,608
3.経費合計	123,602,833	381,458,172	8,742,676	6,457,956	520,261,638
4.営業利益	45,471,331	-16,479,410	-6,910,164	2,210,468	24,292,225
5.事業外収益	4,177,500	0	0	0	4,177,500
6.事業外費用	9,945,993	0	0	493,520	10,439,513
7.特別損失	3,296,025	-	-	190,625	3,486,650
8.経常利益	36,406,813	-16,479,410	-6,910,164	1,526,323	14,543,562
9.法人税等	-	-	-	-	5,844,221
10.当期純利益	-	-	-	-	8,699,341

## 四、役員選任

1. 今回は、役員の変更期ではありませんが、役員(理事)の退任があるため、社員の推薦する候補者から、次の理事を選任しました。

【理事】	藤本晶博
------	------

## ■グリーンコープでんき

・グリーンコープでんきの契約数は、6月5日現在、GC事業所やGC商品のお取引先も含め下表のとおりです。

生協名	契約件数	契約容量(kW)
GC生協おおさか	52	229
GC生協ひょうご	34	168
GC生協とっとり	41	185
GC生協(島根)	79	340
GC生協おかやま	77	308
GC生協ひろしま	106	475
GCやまぐち生協	547	2,309
GC生協ふくおか	1,953	8,147
GC生協さが	123	631
GC生協(長崎)	160	685
GC生協くまもと	526	2,538
GC生協おおい	279	1,163
GC生協みやざき	130	471
GCかごしま生協	216	919
G:市民電力(低圧)	28	143
G:市民電力(高圧)	59	4,573
合計	4,410	23,284

## ■6月にお届けした電気の電源は以下のとおりでした。

### 【関西電力エリア】

神戸市環境局西クリーンセンター(燃料:一般ごみ)が発電した電気100%の電源構成となりました。

### 【中国電力エリア】

神戸市環境局港島クリーンセンター(燃料:一般ごみ)が発電した電気17%、神戸市環境局西クリーンセンター(燃料:一般ごみ)が発電した電気22%、大阪市平野工場(燃料:一般ごみ)が発電した電気30%、敦賀グリーンパワー(燃料:バイオマス)32%の電源構成となりました。

### 【九州電力エリア】

神戸市環境局港島クリーンセンター(燃料:一般ごみ)が発電した電気17%、神戸市環境局西クリーンセンター(燃料:一般ごみ)が発電した電気22%、大阪市平野工場(燃料:一般ごみ)が発電した電気28%、敦賀グリーンパワー(燃料:バイオマス)31%、熊本の馬洗瀬小水力発電所と杖立温泉熱バイナリー発電所を合わせて3%の割合での電源構成となりました。

※グリーンコープでんきは、電源となっている発電所をすべて特定しています。

※グリーンコープでんきの電源には、原発由来の電気は一切含まれていません。



## ■市民発電所

・グリーン・市民電力の発電所の2019年4月の実績です。4月は出力制御を6日間受けたため、全体での損失(予測)は314万円になりました。継続して記録をとってデータに残すようにしています。

発電所	出力(kW)	発電量(kWh)	売電額(円)
神在太陽光発電所	1,057	93,160	3,726,400
平池水上太陽光発電所	1,260	187,751	6,759,036
深年太陽光発電所	1,550	159,843	11,070,240
若宮物流センター	47	6,266	231,842
広島物流センター	47	6,109	226,033
やまぐち西部地域本部	54	6,716	221,628
グリーン未来ソーラー(10箇所)	244	39,999	839,979
合計	4,259	499,844	23,075,158

## ■グリーン電力出資金

・皆さんから出資いただいたグリーン電力出資金の総額(実際に振り込んでいただいた額)は、9億0,141万円になっています。  
・出資目標額(積立目標額)は、6月25日現在で11億1,307万円になっています。

生協名	申込人数	申込件数	出資目標額
GC生協おおさか	213	239	17,890,000
GC生協ひょうご	99	119	8,586,000
GC生協とっとり	136	149	10,900,000
GC生協(島根)	218	224	11,560,000
GC生協おかやま	148	164	12,670,000
GC生協ひろしま	652	752	72,135,000
GCやまぐち生協	589	680	44,010,000
GC生協ふくおか	5,502	6,374	536,532,000
GC生協さが	324	362	44,365,000
GC生協(長崎)	579	636	56,553,000
GC生協くまもと	1,488	1,683	124,194,000
GC生協おおい	788	877	69,868,000
GC生協みやざき	299	337	29,105,000
GCかごしま生協	691	760	74,702,000
合計	11,726	13,356	1,113,070,000

・グリーン電力出資金は、市民発電所の建設費用に充てています。  
・2019年6月末支出総額は8億4,881万円で、残高は5,260万円になっています。  
・市民発電所の建設は、継続して調査や検討をすすめています。

これまで出資いただいた金額	901,411,000
これまで支出した事業と金額	848,810,221
神在太陽光発電所、平池水上太陽光発電所、深年太陽光発電所、若宮物流センター、広島物流センター、やまぐち西部地域本部、グリーン未来ソーラー発電所、豊浦太陽光発電所、馬洗瀬小水力発電所、杖立温泉熱バイナリー発電所、ながわ小水力発電所(建設中)、しましま小水力発電所(準備中)、霧島太陽光発電所(建設中)、熊本菊池太陽光発電所、国東第二自然電力太陽光発電所	
グリーン電力出資金の残高	52,600,779